

教材番号	題名	対象	内容の要約
H3300240	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 経済①経済(学)の視点からの現代社会の課題を探る 経済②「生業としての漁業」の行方 経済③社会的共通資本としてのコモンズの再生を目指して 廣川 祐司/講師(3本セット)</p>	一般	<p>①持続可能な地域づくり、地域資源の活性化の達成を試みている研究者が、経済学の視点から現代社会の諸課題を探る。 ②日本の魚食文化を支えてきた漁業について、「生業としての漁業」という観点から、地域資源管理論の専門家が考察する。 ③日本の経済学者宇沢弘文が提唱した、産業や生活にとって必要不可欠な社会的資本の概念をめぐって、その再生を考える。</p>
H3300250	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 日本史①城郭都市「江戸」-江戸城普請 町割りから大江戸時代へ- 日本史②隠居大名の優雅な隠居生活-柳澤信鴻の『宴遊日記』を中心に-(1) 日本史③隠居大名の優雅な隠居生活-柳澤信鴻の『宴遊日記』を中心に-(2) 小澤 弘/講師(3本セット)</p>	一般	<p>①日本最大の城郭である江戸城の建設から、土地の区画整備である町割りによる町の広がりや繁栄への流れを、元江戸東京博物館都市歴史研究室長・教授が詳細に解説する。 ②江戸時代、第二の人生をどのように過ごしたのか教えてくれる柳澤信鴻『宴遊日記』について、長年にわたる日本芸術文化史、都市風俗図や浮世絵、大名文化人研究をもとに解説する。 ③隠居大名として、現在の東京都文京区にある六義園に住み、観劇、物見遊山などを楽しむ優雅な生活を送った柳澤信鴻について考察する続編。</p>
H3300260	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 人間学①「なつかしさ」とは何か、考える 竹内 整一/講師 人間学②「たましい」とは何か、考える 竹内 整一/講師 人間学③何におびえているのかーコロナからみえてきた現代人の生と死- 内山 節/講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①倫理学・日本思想を専攻し、日本人の精神の歴史をたどりなおしながら、現在に生きる日本人に、どのようにつながっているのかを探究している研究者が「なつかしさ」について考える。 ②日本倫理学会会長、日本学術会議哲学委員会「いのちと心を考える分科会」部会長もつとめた倫理学者が、「たましい」とは何かについて考える。 ③森林づくりの活動に関わる一方で、「働くこと」の意味を社会に問い続けている哲学者が、新型コロナウイルス感染症禍により見えてきた現代人の生と死について考える。</p>
H3300270	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 科学①光触媒-その基礎と現状、さらに将来に向けて- 科学②加古里子先生に学ぶ科学の世界-童話から宇宙まで- 科学③すばらしい科学者たち-一人三役、三人一組での活躍- 藤嶋 昭/講師(3本セット)</p>	一般	<p>①かわさき市民アカデミー理事長で光触媒の発見者である藤嶋昭先生自らが、その原理をわかり易く解説する。光触媒の実用例を示し社会への応用の現状と将来の可能性について詳しく語る。 ②「からすのパン屋さん」や「だるまちゃん」シリーズなど時代と世代を超えて愛され読み継がれてきた、絵本作家 加古里子先生の童話。川崎とゆかりがあり、工学博士でもある加古里子先生の童話から宇宙まで、「ホンモノ」に対する追及と功績を、長年親交のあった藤嶋昭先生が語る。 ③科学者たちを調べていくと、一人で三人分の発見をした大科学者や、一つの分野で三人の科学者がかかわって大きな成果を上げている例に気づいた藤嶋昭先生が、「一人三役」「三人一組」の科学者という目で見た科学の発展を語る。</p>

H3300280	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 環境とみどり①環境面からみた日本の自然 太田 猛彦／講師</p> <p>環境とみどり②森と水-「水循環」の視点から 蔵治 光一郎／講師</p> <p>環境とみどり③温暖化によって変化する災害 太田 猛彦／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①森林環境学、森林水文学、治山・砂防学の研究・教育に約40年間携わり、砂防学会、日本森林学会、日本緑化工学会の会長および日本学術会議会員つとめた研究者が、日本の自然を環境の面から考察する。</p> <p>②森林水文学を専攻し東京大学附属演習林等で研究を重ね、水環境基本法フォローアップ委員会座長として同法の改正にも取り組んだ第一人者が、水環境の視点から森と水について考察する。</p> <p>③森林・林業政策、持続可能な社会について積極的発言を続け、かわさき市民アカデミー学長、環境とみどり分野のコーディネーターもつとめる研究者が、近年の災害の特徴について、温暖化の視点から考察する。</p>
H3300290	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) みどり学①深まる秋に川崎の自然を楽しむ(1)</p> <p>みどり学②深まる秋に川崎の自然を楽しむ(2)</p> <p>みどり学③日本文化と植物 石井 誠治／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①樹木医である石井誠治先生が、川崎市緑化センターの西園を中心に、晩秋を彩る植物について観察する。宿河原駅から緑化センターに向かうまでの道中にも魅力的な植物がいくつもあり、身近な場所での発見を味わう。</p> <p>②川崎市緑化センターの東園を中心に、晩秋を彩る植物について観察する。温室群には様々な植物が展示されており、寒い時期でも楽しめる植物の魅力に迫る。</p> <p>③正月に飾られる門松の松・竹・梅、春の七草、節分の柊、新酒の完成を知らせる酒林の杉、春の桜など、季節を彩り、日本の年中行事でもなじみの深い植物などについて取り上げる。</p>
H3300300	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 川崎学(歴史) ①稲毛庄をたどる-史料や現地踏査を踏まえて- 中西望介／講師</p> <p>川崎学(歴史) ②二ヶ領用水の開削と小泉治太夫 大庭 乾一／講師</p> <p>川崎学(歴史) ③陸軍登戸研究所から考える戦争と平和 渡辺 賢二／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①戦国史研究会会員である中西望介先生が、現在の川崎市高津区から中原区にかけてあった稲毛氏の荘園である稲毛庄について、都鎌倉、都江戸の後背地としての川崎市域の役割という点から考察する。</p> <p>②多摩川などを水源とし、現在の川崎市多摩区から幸区までを流れる、神奈川県下で最も古い人工用水路二ヶ領用水について、用水奉行として活躍した小泉治太夫に焦点をあてて考察する。</p> <p>③旧日本陸軍登戸研究所の実態解明に尽力し、2015年川崎市文化賞を受賞、平和教育登戸研究所資料館の開設につなげた、渡辺賢二先生が、現在の川崎市多摩区生田にかつて所在した、大日本帝国陸軍の研究所について、克明に解説し、戦争と平和を考える。</p>
H3300310	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 川崎学(自然) ①多摩川がつなぐ山地と平野と海 川崎の大地の形成</p> <p>川崎学(自然) ②多摩川洪水史1 近世初頭から明治時代までの多摩川の洪水史から、多摩川の地形的特徴と人との関わりをさぐる</p> <p>川崎学(自然) ③多摩川洪水史2 近世初頭から明治時代までの多摩川の洪水史から、多摩川の地形的特徴と人との関わりをさぐる 増渕 和夫／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①多摩川流域自然史研究会代表である増渕和夫先生が、多摩川や川崎の大地はどのように形成されるのかを中心に、関東平野の成り立ちを詳しく調べながら、多摩川や川崎と関係づけて見ていく。</p> <p>②多摩川流域自然史研究会代表である増渕和夫先生から、多摩川の洪水史を学ぶ。災害の起きやすいところほど、人間が住み着きやすい。荒ぶる自然は恵みをもたらす。近世初頭から明治時代までの多摩川の洪水史をひも解く。</p> <p>③多摩川流域自然史研究会代表である増渕和夫先生が、川の定義、洪水氾濫と低地の地形、日記等古記録からたどる多摩川の洪水小史、気候変動との関連、文字記録のない時代はなど、多摩川洪水史を様々な視点から考察する。</p>

H3300320	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) エクセレント1①イタリア都市の魅力 エクセレント1②イタリアにおける〈テリトリーオ〉 陣内 秀信／講師（2本セット）</p>	一般	<p>①イタリア建築・都市イタリアを中心に、イスラム圏を含む地中海世界の都市研究・調査を行い、日本との比較研究も進めている建築史家が、イタリア都市の魅力を語る。 ②生産の他に環境保護や食料問題などの機能の点から都市と農村の繋がりを包括的に捉え直す概念である「テリトリーオ」について、イタリア建築・都市史の専門家が解説する。</p>
H3300330	<p>知の豊かさを楽しむシリーズシリーズ(2020) 子育て①セクシャル マイノリティの基礎知識 森山 至貴／講師 子育て②性の多様性と子どもたち 遠藤 まめた／講師 子育て③ゆれる心・からだ・性 内田 良子／講師 （3本セット）</p>	一般	<p>①知っているようで、知らないLGBTの基本をわかり易く読み解く。現状と課題を知る機会となる。 ②トランスジェンダーとしての自らの体験をきっかけに、子どもや若者の支援をしており、携わっている子どもたち・若者の状況・教育現場などを踏まえた話を中心に、子ども・若者たちの理解を進める。 ③長年、NHKラジオ電話相談「子どもの心相談」を担当している、心理カウンセラーの内田良子先生が、子どもたちの成長とともに増える不安定要素を理解し、子どもの成長を温かく見守ることの大切さと子どもの今を語る。</p>
H3300340	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ(2020) 環境とみどり特別編 「SDGsと持続可能な森林管理」 太田 猛彦／講師</p>	一般	<p>今日世界的注目を集めるSDGs（持続可能な開発目標）について、森林水文学・環境学の立場から、森林管理の分野について考察する。</p>
H3300350	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2(2021) 経済①経済学者・宇沢弘文の誕生 経済②Hiro Uzawaと宇沢弘文～ふたりのウザワをめぐる～ 経済③社会的共通資本とLiberalism 佐々木 実／講師（3本セット）</p>	一般	<p>①「資本主義と闘った男 宇沢弘文と経済学の世界」の著者であるジャーナリスト佐々木実氏が世界的な業績を挙げた日本人経済学者の誕生の経緯を語る。数学者の道を断念して経済学へ、そして渡米後、瞬く間にアメリカ経済学界を席卷した宇沢弘文の軌跡をたどる。 ②アメリカで大活躍していたHiro Uzawaはベトナム戦争に反対して突然、日本に帰国した。そして、世界最先端の数理経済学者は公害問題の解決を目指して「環境」を分析できる経済学の構築に取り組む。アメリカ時代のUzawaと帰国後の宇沢。変貌の謎をジャーナリストの佐々木実氏が解説する。 ③ジャーナリスト佐々木実氏が、宇沢弘文の4つの人生の転機に触れながら、宇沢が生涯をかけて構想した「社会的共通資本」の経済学と思想について解説する。その根本には、宇沢独自の「リベラリズム」の思想があった。</p>
H3300360	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2(2021) 日本史①「金閣」創建当初の姿を探れ！ 日本史②東山文化は今に「繋がる」のか？ 日本史③戦国の異文化コミュニケーション 佐々木 創／講師（3本セット）</p>	一般	<p>①佐々木創氏による日本史3本シリーズ、「融合と葛藤から考える日本文化史」として第1本目は、「金閣」創建当初の姿を探れ！をテーマに資料も多彩な講義である。改めて「金閣」を親に行ってみたくなる。 ②佐々木創氏による日本史3本シリーズ、「融合と葛藤から考える日本文化史」第2本目は、東山文化は今に「繋がる」のか？現代につながる衣食住の文化を分かりやすく解説している。 ③佐々木創氏による日本史3本シリーズ、「融合と葛藤から考える日本文化史」第3本目は、「戦国の異文化コミュニケーション」である。戦国の食文化と生活文化を中心に、その時代から今につながる異文化について語る。</p>

H3300370	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021) 人間学①「だいじょうぶ」の意味 竹内 整一／講師 人間学②鬼と日本人 竹内 整一／ 講師 人間学③コロナからの生活 内山 節／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①普段の会話でよく使う「だいじょうぶ」という言葉の本来の意味を知っていますか。「だいじょうぶ」の意味をわかりやすく解説している。 ②「鬼」は、古来より、日本人との結びつきが強い関係性をもっている。倫理学者 竹内整一氏が「鬼と日本人」を多角的に解説している。 ③コロナにより、生活様式が大きく一変した。哲学者 内山節氏がコロナ禍で浮かび上がってきた問題点から、今後の私たちの生活を豊かにするための価値観について語る。</p>
H3300380	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021) 科学①空気をきれいに コロナウイ ルスにも効果的 科学②建物を常にきれいにできる光 触媒のすごさ 科学③科学のおもしろさ～私の出前 授業から 藤嶋 昭／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①光触媒反応の応用の1つとして光触媒空気清浄機が注目されている。酸化チタンのフィルターに光を照射すると、タバコの臭いなどが消臭される。インフルエンザウイルスにも効果があり、現在ではコロナウイルスに対する製品が多く上布されている。その現状を解説する。 ②酸化チタンを塗装することで、光と雨できれいになるセルフクリーニング効果の応用として、今、多くの建物に活用されている。超親水性になる仕組みやその様々な活用など、日本を始め、世界で活用されている技術の状況を紹介する。 ③光触媒の発見者である、藤嶋昭氏が自ら、各地の小、中、高校に向向いて行っている出前授業の1例を紹介する。沢山の科学者たちの本を紹介し、身のまわりの科学のおもしろさや科学者たちについて語る。</p>
H3300390	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021) 環境とみどり①私たちが森を護る方 法ー森林認証制度 太田 猛彦／講 師 環境とみどり②都市にすむ鳥たちの くらし 樋口 広芳／講師 環境とみどり③森林・林業と災害 蔵治 光一郎／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①森林・林業の成長産業化に寄与し、地域振興や資源循環型の社会の実現を目指すとして近年注目されている森林認証制度について、森林環境学、森林水文学、治山・砂防学の研究・教育に約40年間携わってきた研究者が詳しく解説する。 ②元日本鳥学会会長で鳥類学、生態学、保全生物学を専攻する研究者が、身近にいて四季を通じて人々の目や耳を楽しませてくれる鳥たちの様子について美しいスライドを使って紹介する。 ③東京大学附属演習林の森林流域管理学研究室で、水源林に関する人文・社会科学研究や人工林の間伐、森林リテラシー教育に関する研究を続ける研究者が、災害の問題について考察する。</p>
H3300400	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021) みどり学①深まる秋にこどもの国の 樹木を楽しむ (1) みどり学②深まる秋にこどもの国の 樹木を楽しむ (2) みどり学③フランス・パリの樹木と 日本の自然の関わり 石井 誠治／講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①多摩丘陵の自然を生かした100万平方メートルの広大な広場である「こどもの国」は、川崎からも近く、大人も楽しめる。園内を進んでいくと、至る所に多様な樹木や草花が生えていることに気づく。秋の深まりと共に変化していく様々な植物を観察していく。 ②野外学習での小休憩のように柿の話聞いた後は、シリーズ1に続いて園内の観察へ。里山の面影を残す豊かな自然があり、四季を通して様々な植物があり、秋の深まりを感じながら、魅力的な樹木等を観察していく。 ③ちょっと旅に出たような気分で写真を見ながらフランス・パリの樹木について観察する。日本にも身近に生えている樹木の様々な特徴や奥深い魅力を学んでいく。</p>

H3300410	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021)</p> <p>川崎学 (歴史) ①二ヶ領用水をとりまく歴史環境 菱沼 一憲/講師</p> <p>川崎学 (歴史) ②近代における横浜・川崎の感染症の歴史 相澤 雅雄/講師</p> <p>川崎学 (歴史) ③多摩川の氾濫が生んだ文学者 岡本かの子 - 洪水を押し渡って恋を成就 川崎 晶子/講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①慶長14 (1611) 年に完成した、神奈川県下で最も古い人工水路二ヶ領用水について、中世地域社会や武士に関する研究を続けてきた研究者が歴史環境について考察する。</p> <p>②約40年にわたり食品衛生業務に従事し、横浜市食品衛生監視員協議会副会長も歴任した地域史研究者が、横浜・川崎の感染症の歴史を解説し、2021年現在の新型コロナウイルス感染症対策との比較考察も行う。</p> <p>③小説家・歌人として活躍し、芸術家岡本太郎の母としても知られる岡本かの子について、生家・大買家があり、代表作の舞台でもある多摩川周辺に着目しつつ歴史考察を行う。</p>
H3300420	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021)</p> <p>川崎学 (自然) ①縄文の海とは - 古多摩湾を中心に - 松島義章先生の業績をたどって 増淵 和夫/講師</p> <p>川崎学 (自然) ②「縄文の海」をさかのぼる - 下末吉海進に伴う古東京湾、古相模湾 - 増淵 和夫/講師</p> <p>川崎学 (自然) ③富士山は、なぜ、『あの形』なのか? ~ 実験授業からのアプローチ ~ 笠間 友博/講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①縄文の海岸線は現在とは違っているが、どのようにして縄文の海が形成されたのか? 松島義章氏の業績を辿りながら学習を深めていく。</p> <p>②縄文時代には縄文海進があったが、過去にも気候変動により同様なことが起こっている。下末吉海進を取り上げつつ、古東京湾、古相模湾の様子を学ぶ。</p> <p>③誰もがよく知る富士山の形。どのようにして形成されたのか、そして見たことがあるとはいえ、実際に山体を描いてみると・・・。実験授業を通じて、観察の奥深さを知る。</p>
H3300430	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021)</p> <p>エクセレントIII ①イスラームの誕生から聖者の出現まで</p> <p>エクセレントIII ②聖者の奇跡の社会的意味を読み解く</p> <p>エクセレントIII ③聖者の政治的、社会的役割を考える</p> <p>私市 正年/講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①7世紀初め、預言者ムハンマドによって創唱されたイスラームの教えから、禁欲主義と内面的信仰の体系化との結合によるスーフィズム (イスラーム神秘主義) の誕生、神と人間との間をとりなし、奇跡を起こすことができると主張する民衆的スーフィー、聖者の出現、そして聖者のイスラームの社会への浸透と拡大への貢献を見る。</p> <p>②民衆に崇敬されるようになった聖者の奇跡譚の中に、架空の話のうちみだす力 (政治や社会による虚構化の力) が働いていた事実を見ていく。その上で、奇跡譚を用いた歴史研究により年代記などの歴史資料に記録されない、新しい社会像を描き出す意味について考える。</p> <p>③部族長や政治権力者とは異なる権威に基づき、社会集団のリーダーとして登場した聖者について、16世紀の最盛期や18世紀以降の近代化による組織替えと現在でも活動する聖者を考察し、その政治的、社会的役割を考える。</p>
H3300440	<p>知の豊かさを楽しむシリーズ2 (2021)</p> <p>子育て①LGBTだけじゃない! - 性の多様性をめぐる現在地 - 森山 至貴/講師</p> <p>子育て②性の多様性と子どもたちの今 遠藤 まめた/講師</p> <p>子育て③アライになろう! - SOGIハラスメントを学ぶ - 金井 景子/講師 (3本セット)</p>	一般	<p>①シリーズ1「LGBTだけじゃない! - 基礎から課題を知る」に続き、森山至貴氏によるLGBTからLGBTQ+へ、脱病理化、性の多様性に関する最近の議論がどのようなことをトピックにしているかについて語る。</p> <p>②シリーズ1に続き、遠藤まめた先生より性の多様性と子どもたちの今を最新情報を取り入れて解説する。性を4つの軸で考えよう、そして、多様性をみせなくさせる仕組みがあるなど、新たな視点をもらえる内容である。</p> <p>③「アライ」って知っていますか? LGBTの言葉は知っているけど・・・という方は多数いる。金井景子氏による「アライ(ally)」の言葉の意味・なぜLGBTでなくSOGIなのか、私たち一人一人の心がけひとつで多様性を認め合う社会を送るためのポイントをわかりやすく解説する。</p>